

支援学級交流会（7月10日）

柏原市は小中一貫教育に取り組んでおり、7月10日（水）はその一環として、校区の柏原小学校と柏原東小学校の児童をお招きし、3校による支援学級交流会を実施しました。今回は、近いうちに本校に入学してくる小学校5、6年生と中学校1年生の交流ということで、年齢が近いこともあり、最初のアイスブレイキング（紅白旗あげ）からすぐに和やかな雰囲気になりました。全体を3つのグループに分け、3つのゲーム（「ピン球でスクラックアウト」「ピン球玉入れ」「風船でバレー」）に取り組みました。どのゲームも大変盛り上がり、予定の1時間はあっという間に過ぎたという感じでした。本校の生徒は、小学生の仲間に楽しんでもらおうと、事前に司会やゲームの説明を何度も練習し、本番では、小学生に優しくアドバイスや手助けをする姿が見られました。まだ入学して3ヶ月ですが、ずいぶん先輩らしい振る舞いができていたことに大変感心しました。小学生の皆さんもとても喜んで帰って行く様子が見られ、有意義な交流会になったと思います。年末には全学年による交流会も実施する予定です。

